

学校関係者評価

(1) 日 時 令和6年2月28日(木) 14:20~15:20

(2) 方 法 学校経営支援委員会議

(3) 評価者 学校経営支援委員2名

(4) 内 容 令和5年度の学校生活アンケートの結果の分析へのご意見

(5) いただいたご意見

- ・行事(6年生を送る会)での児童の様子、職員の様子から日々の先生方の努力が成果となって表れていることを感じられる。
- ・個にあった指導は、少人数だからできるという単純な事ではなく、職員一人一人が児童一人一人を理解するところから指導を始めた結果だと思う。
- ・昨年度に比べ「わからない」が増えたのは、考察にあるように転入生が増えたことが要因と思われる。今後も転入生が増える事が考えられるので、数字だけでの評価がし辛くなってくることも考えられる。
- ・学校評価のアンケート結果については、昨年度は創立150周年の記念すべき年となり、保護者が学校へ関わる機会が増えたことで学校の様子や職員の思いが伝わりやすかったと思われる。
- ・それに比べると、今年度は保護者が来校する機会が減り、学校の様子が見えづらく評価の低下となってしまったと思われる。
- ・しかしながら、児童と先生方それぞれの項目で高い評価が出ている。よって、保護者に伝わるような工夫が必要であった。
- ・小規模の学校の良さを生かして、児童のニーズに合った、よりきめ細かい支援を今後も期待している。
- ・今後とも、「船穂小の子ども」のため、地域の将来のため、よろしく願いしたい。